



ひがし風



行事を通してともに「学び 励み みがく」

校長 伊藤 誠

早いものでもう6月、1学期の折り返しとなりました。連休明けの17日（金）には、今年度から保護者の参観が可能となった中で、6年生のバスケットボール大会が行われ、鴻巣南小、鴻巣中央小と熱戦を繰り広げ、交流を深めました。勝った喜びや負けた悔しさも味わいましたが、大会まで体感することができなかった他校のプレーや態度に多くのことを学び、視野を広めることができました。また、これまでの練習を通して、ともに「学び 励み みがく」を実践し、チームワークを大切にしたり、友だちのよさやがんばりを互いに認め合ったりしました。

この貴重な経験をこれからの学校生活に活かし、鴻巣東小を引っ張っていってくれることを確信した大会となりました。

「時を守る」という不易

6月10日は時の記念日で、今から約100年前、1920年に時間の大切さを尊重する意識をもってもらいたいと制定されたといわれています。それでは、どうして時間を守らなければいけないのか、6年生に聞いてみました。

- 時間は限られている、時間は取り戻せない、お金で買えない貴重なもの、その時間はその時（1度）だけ、時間はどんどん過ぎる 18人
- 相手（周りの人）に迷惑をかける、困らせる、心配をかける 12人
- 今後の予定が遅れる・減る、やりたいことができなくなる 9人
他のやりたいことに使える
- 信頼されなくなる 3人
- 気持ちがよくなる、やる気がでる、メリハリをつけられる 3人 など



また、会社で働く人に行ったアンケート「あなたが仕事をする相手に最も求めるものは何ですか」という調査結果に以下のようなものがあります。

- 1位：時間を守る 41.8%
- 2位：あいさつをする 22.8%
- 3位：文句を言わない 10.6%
- 4位：「できないこと」を「できます」と言わない 10.2%
- 5位：敬語がしっかりできる 9.6%
- その他：5.0%

時間が関係することとして、スケジュールや納品の遅れ、打合せへの遅刻などが考えられます。これらは、相手の立場になって考えると最も困ることかもしれません。

「時を守る」には、「先にした約束を大切にすること」という意味が含まれています。これは人との約束を守ることが信用につながるためだと考えられます。また、先にした約束とは「自分自身で決めた約束」とも捉えられます。

今後も子どもたちに「時刻を守ることの大切さ」や「時間を大切にすること」を伝えていきたいと思います。ご家庭でも、放課後のスケジュールを決め、その時間通りに過ごすようにお声かけいただければ幸いです。